

7/25 県吹奏楽コンクールの会場は、県総合文化センター大ホール。事前に顧問の先生にレクチャーを受け、本校は、30 人までのB編成で、自由曲を1曲というカテゴリーと教えていただいた。選んだ曲は、「B U - G A - K U」作曲は、福田洋介さん▼パート練習の音や短いフレーズは、聞こえていたが、がっちり聞くのは、この日が初めて。曲の全容がわからないので、わくわくしていた▼吹奏楽に精通しているかといえば、ズブの素人。楽器の名前も怪しい。そんなわたしなので、演奏のすばらしさを正しく言語化できないが、まずは、大迫力の演奏だった。それぞれの楽器が際立つ場面があって、音の強弱もはっきりしている。テンポやリズム、音の変化もかっこいい。とにかくかっこよかった▼魂のこもった演奏だった。その気迫は、指揮をされる先生からも伝わってきた。ノリノリだった。そして、子どもたちの柔らかく凜とした姿は、かっこいいとしか表現できない▼演奏が終わった時は、感激して立ち上がって拍手したかったが、一番前に座っていたので、腕だけ上にあげた。作曲家がスコアに込めた意図をベースに最大の工夫が施された演奏は、まさに華麗だった▼8/9 には、サマーコンサートが実施される。もう一度、あの素晴らしい曲が聞けるだろう。ん？ジェラシックパークのテーマが聞こえてきたぞ。これも聞けるのかな。たのしみ。